

(臨床研究に関するお知らせ)

心房粗動に対するカテーテルアブレーション後で通院歴のある患者さんへ

当院では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、診療情報や検査データ等を解析する「観察研究」という臨床研究で、和歌山県立医科大学倫理審査委員会で審査され承認のうえ、学長による実施の許可を得て行うものです。通常の診療で得られた情報等を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

下大静脈三尖弁輪間線上焼灼術における AutoMark Index 値に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学内科学第四講座 講師 柏木学

3. 研究の目的

心房粗動に対するカテーテル治療である下大静脈三尖弁輪間線状焼灼術は確立した治療法である。近年、高周波カテーテルアブレーションにおける通電出力、通電時間、カテーテル先端圧から AutoMark Index と呼ばれる値を算出することで、治療効果を客観的に評価することが可能となった。下大静脈三尖弁輪線上焼灼術における至適 AutoMark Index 値を検討することを目的とします。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

心房粗動の患者さんで、2025年10月1日から2026年5月31日までの期間中に、カテーテルアブレーション治療を受けた方

(2) 研究期間

研究実施許可日～2028年12月31日まで

(3) 試料・情報の利用又は提供を開始する予定日

当院の研究実施許可日から

(4) 利用させて頂く試料・情報

この研究で利用させて頂くデータは、西暦2025年10月から西暦2026年6月の期間に診療情報に記録された患者背景（年齢、性別、身長、体重、既往症、内服状況）、検査情報（心電図、心臓超音波検査、CT検査、血液検査）、治療情報（カテーテルアブレーション）に関する情報です。

(5) 方法

下大静脈三尖弁輪線上焼灼術の初回治療成功と AutoMark Index 値の関係について検討します。

5. 外部への試料・情報の提供

ありません。

6. 研究の実施体制

和歌山県立医科大学 内科学第四講座

7. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学

整理番号 4906 管理者許可日：2026年6月23日
術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報公表されることはありません。

8. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、既にデータが解析され個人を特定できない場合など、研究の進捗状況によっては削除できないことがありますので、ご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

9. 資金源及び利益相反等について

本研究に関連して開示すべき利益相反関係になる企業等はありません。

10. 問い合わせ先

所属：和歌山県立医科大学内科学第四講座

担当者：柏木 学

住所：和歌山市紀三井寺 811-1

TEL：073-441-0621 FAX：073-446-0631

E-mail：mkashi@wakayama-med.ac.jp